

登録コード	A3594389	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	野村 亘
英文授業名	Thesis Research						
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				主として酵母に関する研究手法や、それに関する知識を修得し、それらを研究活動における課題解決に利用することができる。研究活動や研究室セミナーでの活動を通して、プレゼンテーション能力やディスカッション能力を涵養する。		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				主として酵母に関する研究手法や、それに関する知識を修得し、それらを研究活動における課題解決に利用することができる。研究活動や研究室セミナーでの活動を通して、プレゼンテーション能力やディスカッション能力を涵養する。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				主として酵母に関する研究手法や、それに関する知識を修得し、それらを研究活動における課題解決に利用することができる。研究活動や研究室セミナーでの活動を通して、プレゼンテーション能力やディスカッション能力を涵養する。		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				主として酵母に関する研究手法や、それに関する知識を修得し、それらを研究活動における課題解決に利用することができる。研究活動や研究室セミナーでの活動を通して、プレゼンテーション能力やディスカッション能力を涵養する。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	主として酵母を用いた基礎・応用的な研究について、分子細胞生物学的な解析などを通して学ぶ。特に酵母の環境応答や代謝調節の理解に関する解析手法を習得する。						
(5)授業計画	1. 酵母を用いた解析に必要な基礎的な実験手法 2. 研究テーマに関わる文献情報の収集と整理 3. 解析結果の評価と論理的な解釈 ＊最後に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	研究テーマに関わる最新の知見や情報を積極的に収集する習慣を身につける努力を期待します。						
(7)成績評価の基準	授業の達成目標を許容水準で行うことができる力を備えていれば、合格レベル（可）とします。						
(8)事前事後学習の内容	授業の達成目標を達成できるように、事前準備等に取り組んでください。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	受講態度および授業計画に挙げた内容に対する取り組みの成果を総合的に判断して評価する。 評価基準[評語(点数)]：秀（90-100）、優（80-89）、良（70-79）、可（60-69）、不可（59以下）						
(11)質問、相談への対応および連絡先	常時、受け付けます。						
(12)履修上の注意	主体的な取り組みを期待します。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	特に指定しない。						